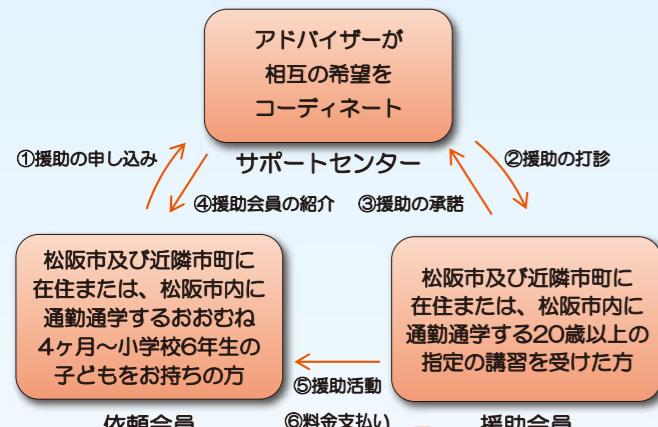


まつさかファミリーサポートセンターのしくみ

●サポート内容

- ・保育園や学校・学童保育への送迎および一時的な預かりなど
- ・軽い病児、病後児および緊急時の預かりなど
- ・宿泊預かり



依頼会員 → 援助会員

★1時間の利用料金★	
平日 7:00～19:00	700円
平日の上記以外の時間・土日祝日	800円
年末年始（12月29日から1月3日）	1,000円
★援助開始まで3時間切った場合・軽い病児・病後児★	
平日 7:00～19:00	1,000円
平日の上記以外の時間・土日祝日	1,200円
年末年始（12月29日から1月3日）	1,400円
★1回あたりの宿泊の利用料金★	
22:00～6:00（連続8時間）	5,000円
年末年始の同じ時間（12月29日から1月3日）	7,000円

●利用するには

- ①まずはお電話の上、当センターまでお越しください。入会申込書に必要事項を記入し、登録してください(登録は無料です)。
- ②依頼会員とその条件に合う援助会員(2～3名)が、お子さんを交え事前の顔合わせをします。
- ①②を済ませておけば、依頼をすることができ、いざというときにも安心です。

援助活動中の万が一の事故に備え、補償保険に加入しています。

まつさかファミリーサポートセンター

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1階
(特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター内)

TEL/FAX 0598-20-8246

E-mail mfsc@mknpo.jp

ホームページ <http://www.mknpo.jp/mfsc/>

開所時間 月曜～金曜8:30～19:00

- 駐車場は、カリヨンパーキングをご利用ください。



『あなたの子育て応援します』

2017年6月(第28号)

ファミサポ

ホットトイ

発行元：まつさかファミリーサポートセンター

援助会員養成講座



子どもの栄養と食生活(講師:馬場啓子さん)



子どもの遊び(講師:山野栄子さん)



子どもの事故と安全・幼児救急法(講師:富内直美さん)

第1回

- 日付：7月21日23日26日29日 8月4日
- 会場：嬉野保健センター・嬉野ふるさと会館・嬉野社会福祉センターにて
- 受講者数：新規14名(うち登録 7名)
再受講31名(うち完了 7名)

2016年度は会員を増やしたいと広報活動に力を入れた結果、新たに19名の方が援助会員として登録されました。その中からは、「子どもの気持ちを考え援助がしたい」「子育てを応援する一人になれたら」という声も聞かれ、共に地域での子育て支援ができる事を心強く思います。

第2回

- 日付：1月17日21日22日26日28日
- 会場：ワークセンター松阪 労働会館にて
- 受講者数：新規21名(うち登録 12名)
再受講29名(うち完了 11名)

まつさかファミリーサポートセンターは(特)松阪子どもNPOセンターが松阪市より委託を受けて運営しています



2016年度の活動報告

【援助活動一覧表】

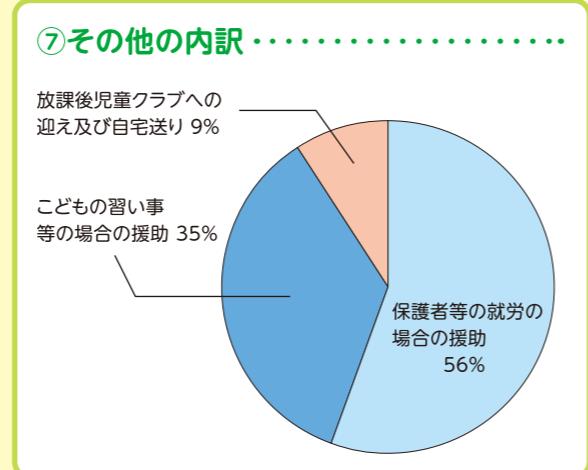
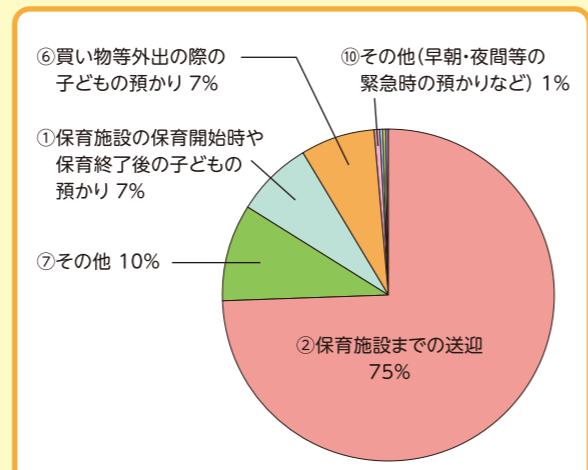
①保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	69
②保育施設までの送迎	697
③放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	2
④学校の放課後の子どもの預かり	0
⑤冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	3
⑥買い物等外出の際の子どもの預かり	69
⑦その他 ・子どもの習い事等の場合の援助	88 31
・保育所・学校休み時の援助	0
・保護者等の病気その他急用の場合の援助	0
・出産時・後の援助	0
・保護者等の就労の場合の援助	49
・学校の登校前の預かり及び援助	0
・学校の迎え及び帰宅後の預かり	0
・放課後児童クラブへの迎え及び自宅送り	8
⑧病児・病後児の預かり	1
⑨宿泊を伴う預り	0
⑩その他(早朝・夜間等の緊急時の預かりなど)	5
⑪上記に伴う保育施設、病衣・病後児施設、自宅等との間の送迎	0
合 計 活 動 件 数	934

援助内容で特徴的なものは、“子どもの習い事等の場合の援助”が2014年度・2015年度と300件を超えていましたが、2016年度は31件と大変少なくなりました。理由としては小学生を持つ依頼会員が少なくなり、塾の送迎ための依頼がなくなったからです。

早朝・夜間等の緊急時の預かりなど5件、病児・病後児の預かりが1件ありました。緊急時、病児・病後児があることは働くお母さんにとって必要不可欠な支援です。

2016年度より、援助会員の資質向上のために、登録後5年以上経過した援助会員・両方会員の方には援助会員養成講座の再受講を位置づけました。「登録する時には無かった講座もあり、新たに受けることで、又発見があり勉強になった」という声がありました。しかし再受講を位置づけたことがきっかけになつたり、高齢になり安心・安全を考え退会される方もありました。

2017年度も広報活動を充実するとともに研修会・交流会を一般に呼びかけ、子育て支援を地域に拡げていきたいと思います。



ステップアップ講座

- 日時：10月30日(日) 13:30～16:30 ●会場：労働会館 ワークセンター松阪内
- 講師：大阪発達障害総合支援センター児童発達支援部 部長 谷岡とし子さん
- 参加人数：38名

子ども支援をしている方、子育て中の方にも広げて開催しました。「発達障がいのある子どもの理解と支援」90分の講義では、事例など上げて解りやすく話していただきました。子どもが発した「このお茶嫌い」という言葉の奥には「いつも家で飲んでいるお茶じゃない。」という気持ちがあるかもしれません。言葉の奥にある気持ちは様々です。子どもに寄り添い、その子の気持ちを考えることが大切だと思います。

グループワーク80分では参加者自身が事例の「車に乗りたくない」という子どもの気持ちを一人一人が出し合いグループごとに発表し、共有しました。



交流会

- 日時：12月18日(日) 10:00～13:00 ●会場：松阪公民館
- 参加人数：24名 ●内容：おもちゃづくり

交流会では、お父さんも一緒に家族4人で参加の依頼会員や、おもちゃを手作りするいい機会だからと参加してくれた援助会員もありました。

おもちゃは家にある材料で、UFOコマと新聞口ケットを作りました。UFOコマは、牛乳パックを2つ使い、ビーズや折り紙を貼ったりしてきれいに飾りました。新聞口ケットは、新聞紙を丸めたものとトイレットペーパーの芯を使って作りました。夢中になっている様子や早く遊びたくて頑張って作る姿がみられ、小さい子がうまく口ケットを飛ばせずにいた時には、「こうやってするといいよ」とアドバイスしてくれる小学生もあり、子ども同士の交流にもなりました。

昼食は、ぶんぶんおにぎりを作りました。ビニール袋にご飯とふりかけを入れて、クルクル回すと丸くなる不思議なおにぎりです。テーブルを囲んで豚汁と一緒にみんなで食べて会話を弾みました。

「家に帰っても遊んでいましたよ」「援助の時に、作ったおもちゃで一緒に遊びました」「楽しかった」などの声がありました。



広報活動

まつさかファミリーサポートセンターを多くの子育てをしている方に知っていただくために、松阪市が実施している乳幼児健康相談へ月に一度出向き、ファミリーサポート事業のPR活動を行いました。直接お母さん方と話す中で「利用したいと思っていたが、どこに行けばいいのかがわからない」「どんな時に利用できるの?」といった質問も多く聞かれました。また、「もしもの時のために登録をしておくと心強い」「今、2人目を妊娠中で、つわりがひどくぜひ利用したい」「保育園を利用しているが、病後児のときに利用したい」と話される方もいました。

同時に、子育ての知識を学ぶ機会にしてもらえるように、年に2回開催している援助会員養成講座の案内もしていました。

その結果、問い合わせや入会があつたり、援助会員養成講座の受講につながつたり、広報活動が、利用を考えていたお母さんの背中を押すきっかけとなったと思います。

